

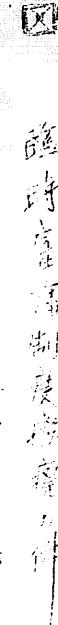
不況に於ける資本家階級の攻勢は勞働組合麻痺 團結維持論を目標とせらば後で長期に亘る畢業化してあり。

かゝる暴虐的の政策に對しは金界労働者と共に断呼として反対し團結權維護を要す。

團結權維護は職務の生結構の障害である。其等は團結權確立を要求する共に完全なる労働組合法の即時制定を期すものである。

二方法

中央委員会一併



提出 地方組織等労働組合

三理由

資本家階級の悪辣なる逐級的搾取は最近盛んに巧妙に工ノ露骨に現り、

あり、資本主義經濟の實質上は甚だ悲惨は多くは不適當な解雇は尋常により、
而びに雇入もまたかくとも永久に生活の不安定さ強制シ労働者をして
奴隸化せしめられゆる。解雇手當を支給することはかかる方惡なる雇
用條件に対して断呼と反對しが、この制度の撤廃を要ホシ 完全なる雇用
條件を獲得せんとする所以である。

四方法

工場法に臨時工賃に關する廻入小期間は一ヶ月以内とし 再び繼續雇入れを
行ふ場合は常備工とはすこゝ條文を入れることを要す。只
組合員所屬の工場主に対する要求を是すこと。

其他一切の方策を中央委員会へ一併す。